

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	パターン製図	専攻科	1	
科目概要					
<p>今まで得た知識をベースにより高度な製図方法を用いて美しいシルエットを研究。 人体と布の調和を考える。</p>					
習得項目					
<p>1. シーチングを用いて課題に沿った作図、トワル組み、ピンワーク。 2. 課題をベースにシーチングを用いて美しいシルエットのトワルを完成させる。</p>					
評価方法					
<p>1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）</p>					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
		学校オリエンテーション	4/8		
0	各自の目標、今後の授業の説明	オリエンテーション	4/15		
1	ドレープの考え方	パターンの構造を理解する	4/22		
	バイアスの考え方	バイアスカットのパターンデザインを考える	5/13		
	バイアスの考え方	バイアスカットのパターンデザインを考える	5/20		
	パターンの理解	パターン作成、シーチング裁断、組み立て	5/27		
	パターンの理解	パターン作成、シーチング裁断、組み立て	6/3		
2	パターンの理解Ⅱ	シーチングで実物大のパターンを作る	6/10		
	パターンの理解Ⅱ	シーチングで実物大のパターンを作る	6/17		
	シルエットの表現、理解力	裁断、縫製	6/24		
	シルエットの表現、理解力	裁断、縫製	7/1		
	トワル完成	シーチング実物大の作品提出	7/8		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実習100%	なし	12回/ 30h	/	/
講師区分	非常勤	講師名	関係実務経験 3年以上のキャリア	パターンナー職を3年以上	
		大森 正樹			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期 I	パターン製図	専攻科	1
科目概要				
今まで得た知識をベースにより高度な製図方法を用いて美しいシルエットを研究。 人体と布の調和を考える。				
習得項目				
3. 課題をベースにオリジナルデザインを考え、実際の生地を用いて美しいシルエットの作品を完成させる。 4. 研究課題に対しての成果をレポート提出する。				
評価方法				
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			専攻科	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
2	コミュニケーションカ	各自の作品をクラス内でディスカッションする	9/2	
	コミュニケーションカ	各自の作品をクラス内でディスカッションする	9/9	
3	マチの考え方	マチを入れる事でのシルエットの変化を考える	9/30	
	デザインと生地の親和性	今までの課題をベースにオリジナルデザインと実生地を考える	10/7	
	デザインと生地の親和性	今までの課題をベースにオリジナルデザインと実生地を考える	10/21	
		海外研修期間	10/29	
	パターンの理解	パターン作成、裁断	11/11	
	パターンの理解	パターン作成、裁断	11/18	
	実生地縫製のテクニック	裁断、縫製	11/25	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必修	実習100%	なし	9回/ 22.5h	/ / / /
講師区分	非常勤	講師名	大森 正樹	関係実務経験 3年以上のキャリア
				パターンナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期Ⅱ	パターン製図	専攻科	1	
科目概要					
<p>今まで得た知識をベースにより高度な製図方法を用いて美しいシルエットを研究。 人体と布の調和を考える。</p>					
習得項目					
<p>3. 課題をベースにオリジナルデザインを考え、実際の生地を用いて美しいシルエットの作品を完成させる。 4. 研究課題に対しての成果をレポート提出する。</p>					
評価方法					
<p>1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）</p>					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
3	実生地縫製のテクニック	裁断、縫製	12/2		
	実生地縫製のテクニック	裁断、縫製	12/9		
4	コミュニケーションカ	各自の作品をクラス内で発表	12/16		
	コミュニケーションカ	各自の作品をクラス内で発表／レポート提出	12/23		
5	期限納期を守り精度の高い物作りを学ぶ	卒業制作に向けての作品制作	1/6		
	期限納期を守り精度の高い物作りを学ぶ	卒業制作に向けての作品制作	1/20		
	期限納期を守り精度の高い物作りを学ぶ	卒業制作に向けての作品制作	1/27		
		ファッションショー期間	2/3		
		ファッションショー期間	2/10		
		ファッションショー期間	2/17		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実習100%	なし	10回/ 25h	/	/
講師区分	非常勤	講師名	大森 正樹	関係実務経験 3年以上のキャリア	パタンナー職を3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	ファッションビジネス概論	専攻科(DP選択)	1	
科目概要					
ファッション業界の市場・職種・販売戦略等を総合的に理解・学習すること					
習得項目					
モノを企画・生産・販売に至る一連のフローを学び各職種の業務連動を学び、アイデアの選択肢を増やすこと					
評価方法					
各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする） 出席率が65%未満の場合は留年対象となる。					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	学習内容・スケジュール説明	ファッションビジネス概要	4/10		
2	ファッションビジネス知識①	ファッション消費・消費行動	4/17		
3	事業形態を学ぶ	アパレル産業と小売産業	4/24		
4	ターゲットを知る	ファッションマーケティング	5/1		
5	戦略学習	ファッションマーチャンダイジング	5/8		
6	生産から納品のフローを学ぶ	ファッション流通	5/15		
7	商業施設	ビジネス基礎知識①	5/22		
8	E-Commerce	ビジネス基礎知識②	5/29		
9	セルフプロデュースカ	自社ブランド企画案①	6/5		
10	セルフプロデュースカ	自社ブランド企画案②	6/12		
11	ポートフォリオ作成	自社ブランド企画案③	6/19		
12	ポートフォリオ作成	自社ブランド企画案④	6/26		
13	ポートフォリオ作成	課題レポート作成	7/3		
14	ポートフォリオ作成	課題レポート作成	7/10		
15		予備日	7/17		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必修	講義70%/実習30%		なし		15回/ 37.5H / / / /
講師区分	常勤	講師名	石川 誠	関係実務経験 3年以上のキャリア	営業・バイヤー・MD 3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期 I	ファッションビジネス概論	専攻科(DP選択)	1
科目概要				
ファッション業界の市場・職種・販売戦略等を総合的に理解・学習すること				
習得項目				
モノを企画・生産・販売に至る一連のフローを学び各職種の業務連動を学び、アイデアの選択肢を増やすこと				
評価方法				
各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする） 出席率が65%未満の場合は留年対象となる。				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			専攻科	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	前期振り返り	復習	9/4	/ / / /
2	コスト・本体価格・粗利益	利益構造の理解①	9/11	
3		利益構造の理解②	9/18	
4	小売・卸の利益率	事業種類・利益種類理解	9/25	
5	アイデアを可視化する	ブランディング・リブランディング理解	10//2	
6		休講	10/9	
7	販売実績と在庫の関係学習	消化率の考え方	10/16	
8	販売実績と在庫の関係学習	プロパー・セール消化率学習	10/23	
9	リテール/アウトレット	ビジネス基礎知識③	10/30	
10	VMD	ビジネス基礎知識④	11/6	
11	生産から納品のフローを学ぶ	ビジネス基礎知識⑤	11/13	
12	海外仕入・販売の仕組み	ビジネス基礎知識⑥	11/20	
13		課題テスト	11/27	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必修	講義70%/実習30%	なし	13回/ 32.5H	/ / / /
講師区分	常勤	講師名	石川 誠	関係実務経験 3年以上のキャリア
				営業・バイヤー・MD 3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期Ⅱ	ファッションビジネス概論	専攻科(DP選択)	1
科目概要				
ファッション業界の市場・職種・販売戦略等を総合的に理解・学習すること				
習得項目				
モノを企画・生産・販売に至る一連のフローを学び各職種の業務連動を学び、アイデアの選択肢を増やすこと				
評価方法				
各項目に標準点を置き、「意欲・理解度」100ポイント/「課題評価」100ポイントとし、平均点算出評価（出席率が75%未満、成績評価60点未満の場合は補習対象とする） 出席率が65%未満の場合は留年対象となる。				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			専攻科	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	後期Ⅰ振り返り	期末テスト解説	12/4	/ / / /
2	販売促進を可視化する①	MDとVMD	12/11	
3	販売促進を可視化する②	MDとVMD（リサーチ：百貨店）	12/18	
4	リサーチレポート作成・提出	新規出店計画書の作成	12/25	
5	総合的業務分掌の実践	①コンセプト②ターゲット③場所④モノ⑤数字⑥周知	1/8	
6	総合的業務分掌の実践	課題レポート提出	1/15	
7	総合的業務分掌の実践	課題レポートフォローアップ	1/22	
8		ショー期間	1/29	
9		ショー期間	2/5	
10		ショー期間	2/12	
11		ショー期間	2/19	
12		ショー期間	2/26	
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必修	講義70%/実習30%	なし	12回/ 30H	/ / / /
講師区分	常勤	講師名	石川 誠	関係実務経験 3年以上のキャリア
				営業・バイヤー・MD 3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	デザインワーク 2	専攻科(DP選択)	1	
科目概要					
クリエーションの領域拡大、応用。 企画力（商品構成）、発表（展示会）、プレゼンテーション力の強化。 デザイナーとしてのグループワーク					
習得項目					
1. 実務に即したデザイン、ブランド構築力 2. 企画力（発表、ルックブック） 3. ショー作品デザイン					
評価方法					
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	企画力向上 (グループミーティング) (2年次+α)	前期ショー作品考察 プランミーティング	4/11		
	"	前期ショー作品考察 デザイン①	4/18		
	"	前期ショー作品考察 デザイン②	4/25		
	"	前期ショー作品考察 デザイン③	5/9		
0	ファッションマスデザイン実習 (就職・実務実習)	商品企画ポートフォリオ ※1 ブランディング&マーケティング&テーマ設定orシーズン設定①	5/16		
	"	商品企画ポートフォリオ ※1 ブランディング&マーケティング&テーマ設定orシーズン設定②	5/23		
	"	商品企画ポートフォリオ ※1 ブランディング&リサーチ①	5/30		
	"	商品企画ポートフォリオ ※1 ブランディング&リサーチ①	6/6		
	"	商品企画ポートフォリオ 素材テーマ別デザイン①	6/13		
	"	商品企画ポートフォリオ 素材テーマ別デザイン②	6/20		
	"	商品企画ポートフォリオ 素材テーマ別デザイン③	6/27		
	"	商品企画ポートフォリオ 素材テーマ別デザイン④	7/4		
	"	商品企画ポートフォリオ ポートフォリオまとめ	7/11		
		前期ショー	7/18		
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)		
必修	実習100%	※1 連携授業：ファッションビジネス概論	14回/35H	/	/
講師区分	常勤	講師名	関係実務経験 3年以上のキャリア	国内外アパレルブランドデザイナー 3年以上	
		石川 和男			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年		
令和6年	後期 I	デザインワーク 2	専攻科(DP選択)	1		
科目概要						
クリエーションの領域拡大、応用。 企画力（商品構成）、発表（展示会）、プレゼンテーション力の強化。 デザイナーとしてのグループワーク						
習得項目						
1. 実務に即したデザイン、ブランド構築力 2. 企画力（発表、ルックブック） 3. ショー作品デザイン						
評価方法						
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率 などの評価項目）						
科目授業の実施計画			履修クラス			
			専攻科			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日			
2	発表案企画or作品撮り グループワーク	前期ショー作品考察延長 企画案（展示会orルックブック）① ※1	9/5			
	"	前期ショー作品考察延長 企画案（展示会orルックブック）② ※1	9/12			
	"	前期ショー作品考察延長 企画案（展示会orルックブック）③ ※1	9/19			
	"	展示会？	9/26			
3	発展クリーション（修了制作案）	生地プリント・素材製作 リサーチ&考察&イメージ作成①	10/3			
	"	生地プリント・素材製作 リサーチ&考察&イメージ作成②	10/10			
	"	生地プリント・素材製作 材料、手法、背景検討①	10/17			
	"	生地プリント・素材製作 材料、手法、背景検討②	10/24			
	"	生地プリント・素材製作 製作①	10/31			
	"	生地プリント・素材製作 製作②	11/7			
	"	生地プリント・素材製作 製作③	11/14			
	"	生地プリント・素材製作 製作④	11/21			
		生地プリント・素材製作 製作⑤	11/28			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）	
必修	実習100%		※1 連携学科：モデル科		13回/ 32.5H / / / /	
講師区分	常勤	講師名	石川 和男		関係実務経験 3年以上のキャリア	国内外アパレルブランドデザイナー3年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期Ⅱ	デザインワーク2	専攻科(DP選択)	1	
科目概要					
クリエーションの領域拡大、応用。 企画力（商品構成）、発表（展示会）、プレゼンテーション力の強化。 デザイナーとしてのグループワーク					
習得項目					
1. 実務に即したデザイン、ブランド構築力 2. 企画力（発表、ルックブック） 3. ショー作品デザイン					
評価方法					
1. 課題評価（技術面、表現・思考面） 2. 授業姿勢（課題期限、出席率などの評価項目）					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
3	発展クレーション（修了制作案）	修了作品制作①	12/5		
	”	修了作品制作②	12/12		
	”	修了作品制作③	12/19		
	”	修了作品制作③	1/9		
	”	修了作品制作④	1/16		
	”	修了作品制作⑤	1/23		
		ショー期間	1/30		
		”	2/6		
		”	2/13		
		”	2/20		
		”	2/27		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実習100%	連携授業：パターン製図、高度造形実習	11回/ 27.5h	/	/
講師区分	常勤	講師名 石川 和男	関係実務経験 3年以上のキャリア	国内外アパレルブランドデザイナー3年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	高度造形実習	専攻科 (DP選択)	1	
科目概要					
<ul style="list-style-type: none"> ・より高度な製図、立体技法を用いて美しいフォルムの研究。 ・多種類素材の扱い、縫製技法の研究を行う。 					
習得項目					
<ul style="list-style-type: none"> ・コレクションディティール、シルエット等からデザインを学び、その再現化を研究する。 ・製図、立体いずれかでパターン作りをする。 					
評価方法					
1、課題評価 デザインに合ったパターンを作って速やかに提出する事 2、授業態度 出席率、集中度					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	各自の目標	オリエンテーション	4/9		
2	トワルの試作	フレンチスリーブ製図3種	4/16		
	”	↓	4/23		
	”	↓	4/30		
3	コピーデザインのトワル化	ドルマンスリーブ製図応用	5/7		
	”	↓	5/14		
	”	↓	5/21		
	”	↓	5/28		
4	テーマ決め	前期ショーについて	6/4		
5	技術の向上	素材を生かしたデザインと制作	6/11		
	”	↓	6/18		
	”	↓	6/25		
	”	↓	7/2		
	”	↓	7/9		
	”	↓	7/16		
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)		
必修	講義20% 実技80%	なし	15回/ 37.5H	/	/
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア	教職三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期 I	高度造形実習	専攻科 (DP選択)	1	
科目概要					
デザインを理解し、表現を研究、シルエット、バランスを決める					
習得項目					
作品の表現力、完成度アップ・製図パターンの制作力					
評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題評価 (デザインが十分表現されているか) 授業評価 (制作の進行状況、出欠) 					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	卒業制作	デザインの分析、イメージ完成	9/3		
2	"	素材の研究	9/10		
	"	↓	9/17		
	"	↓	9/24		
3	"	モデル採寸、製図制作	10/1		
	"	↓	10/8		
	"	トワル組み 準備	10/15		
	"	↓	10/22		
"	"	海外研修期間	10/29		
3	"	トワル組み 準備	11/5		
	"	素材集め、決定	11/12		
	"	トワル仮縫い	11/19		
	"	実物制作	11/26		
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)
必修	講義20% 実技80%		なし		13回/ 32.5h / / / /
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア	教職三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期Ⅱ	高度造形実習	専攻科 (DP選択)	1
科目概要				
デザインを表現化する為の工夫				
習得項目				
作品の完成度を上げる				
評価方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題の評価 デザイン通りの表現の有無 ・ 授業評価、仕上がりの期日 				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			専攻科	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
1	卒業制作	実物仮縫い補正	12/3	
"	"	↓	12/10	
2	"	本縫い	12/17	
"	"	↓	12/24	
"	"	↓	1/7	
3	"	中間チェック	1/21	
4	"	小物制作及び仕上げ	1/28	
5	"	最終チェック、補正	2/4	
6	"	提出	2/18	
7	"	ショー週間	2/25	
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)	
必修	講義20% 実技80%	なし	10回/ 25H	/ / / /
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア
				教職三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年				
令和6年	前期	高度造形実習	専攻科(T選択)	1				
科目概要								
様々な形態の造形を実習体験する								
習得項目								
実物制作を通して素材の適応、デザインの具現化等								
評価方法								
①作品の成果及びペーパーテスト ②授業における自主性と集中力								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			専攻科					
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
1	各自の目標	オリエンテーション	4/9					
2	シャツの構成縫製	各自オリジナルデザインシャツ	4/10					
		↓	4/11					
3	タオルの試作	フレンチスリーブ製図3種	4/16					
2	シャツの構成縫製	各自オリジナルデザインシャツ	4/17					
		↓	4/18					
3	タオルの試作	フレンチスリーブ製図3種	4/23					
2	シャツの構成縫製	各自オリジナルデザインシャツ	4/24					
		↓	4/25					
3	タオルの試作	フレンチスリーブ製図3種	4/30					
4	ブリーツの構成を理解	ブリーツを使った制作	5/1					
5	コピーデザインのタオル化	ドルマンスリーブ製図応用	5/7					
4	ブリーツの構成を理解	ブリーツを使った制作	5/8					
		↓	5/9					
5	コピーデザインのタオル化	ドルマンスリーブ製図応用	5/14					
選択区分	授業形態(講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数(2限=2.5H)			
必修	講義20% 実技80%		なし		/	/	/	
講師区分	常勤	講師名	山下節子		関係実務経験 3年以上のキャリア	教職三年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	高度造形実習	専攻科(T選択)	1	
科目概要					
様々な形態の造形を実習体験する					
習得項目					
実物制作を通して素材の適応、デザインの具現化等					
評価方法					
①作品の成果及びペーパーテスト ②授業における自主性と集中力					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
4	ブリーツの構成を理解	ブリーツを使った制作	5/15		
		↓	5/16		
5	コピーデザインのトワル化	ドルマンスリーブ製図応用	5/21		
4	ブリーツの構成を理解	ブリーツを使った制作	5/22		
		↓	5/23		
5	コピーデザインのトワル化	ドルマンスリーブ製図応用	5/28		
4	ブリーツの構成を理解	ブリーツを使った制作	5/29		
		↓	5/30		
6	テーマ決め	前期ショーについて	6/4		
		↓	6/5		
		↓	6/6		
7	技術の向上	素材を生かしたデザインと制作	6/11		
		↓	6/12		
		↓	6/13		
		↓	6/18		
選択区分	授業形態(講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)		
必修	講義20% 実技80%	なし	29回/ 72.5H	/	/
講師区分	常勤	講師名	関係実務経験 3年以上のキャリア	教職三年以上	
		山下節子			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	高度造形実習	専攻科(T選択)	1	
科目概要					
様々な形態の造形を実習体験する					
習得項目					
実物制作を通して素材の適応、デザインの具現化等					
評価方法					
①作品の成果及びペーパーテスト ②授業における自主性と集中力					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
7	技術の向上	素材を生かしたデザインと制作	6/19		
			6/20		
			6/25		
			6/26		
			6/27		
			7/2		
			7/3		
			7/4		
			7/9		
			7/10		
		提出		7/11	
	予備日		7/16		
8		前期ショーリハ	7/17		
		前期ショーリハ	7/18		
選択区分	授業形態(講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)		
必修	講義20% 実技80%	なし	44回/ 110h	/	/
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア	教職三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期 I	高度造形実習	専攻科 (T選択)	1	
科目概要					
デザインを理解し、表現を研究。 シルエット、バランスを決める。					
習得項目					
作品の表現力、完成度アップ 製図 パターンの制作力					
評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題評価 デザインが十分表現されているか 授業評価 制作の進行状況、出席率、集中度 					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	卒業制作	デザインの分析、イメージ完成	9/3		
2	素材の変化に対応	重衣料制作 コート	9/4		
	"	↓	9/5		
3	卒業制作	素材の研究	9/10		
2	素材の変化に対応	重衣料制作 コート	9/11		
	"	↓	9/12		
3	卒業制作	素材の研究	9/17		
2	素材の変化に対応	重衣料制作 コート	9/18		
	"	↓	9/19		
3	卒業制作	素材の研究	9/24		
2	素材の変化に対応	重衣料制作 コート	9/25		
	"	↓	9/26		
4	卒業制作	モデル採寸、製図制作	10/1		
2	素材の変化に対応	重衣料制作 コート	10/2		
	"	↓	10/3		
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)
必修	講義20% 実技80%		なし		
講師区分	常勤	講師名	関係実務経験 3年以上のキャリア		教職三年以上
		山下節子			

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年		
令和6年	後期 I	高度造形実習	専攻科 (T選択)	1		
科目概要						
デザインを理解し、表現を研究。 シルエット、バランスを決める。						
習得項目						
作品の表現力、完成度アップ 製図 パターンの制作力						
評価方法						
<ul style="list-style-type: none"> 課題評価 デザインが十分表現されているか 授業評価 制作の進行状況、出席率、集中度 						
科目授業の実施計画			履修クラス			
			専攻科			
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日			
4	卒業制作	モデル採寸、製図制作	10/8			
2	素材の変化に対応	重衣料制作 コート	10/9			
5	卒業制作	デザインの分析、完成	10/10			
	〃		10/15			
	〃		10/16			
	〃	↓	10/17			
6	〃	トワル組み、準備□	10/22			
	〃	□	10/23			
	〃	↓	10/24			
		海外研修期間	10/29			
		海外研修期間	10/30			
		海外研修期間	10/31			
6	卒業制作	トワル組み、準備□	11/5			
7	〃	素材集め、決定□	11/6			
8	〃	トワル仮縫い	11/7			
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)	
必修	講義20% 実技80%		なし			
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア	教職三年以上	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年				
令和6年	後期 I	高度造形実習	専攻科 (T選択)	1				
科目概要								
デザインを理解し、表現を研究。 シルエット、バランスを決める。								
習得項目								
作品の表現力、完成度アップ 製図 パターンの制作力								
評価方法								
<ul style="list-style-type: none"> 課題評価 デザインが十分表現されているか 授業評価 制作の進行状況、出席率、集中度 								
科目授業の実施計画			履修クラス					
			専攻科					
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日					
8	卒業制作	トフル仮縫い	11/12					
	"	↓	11/13					
9	"	実物制作	11/14					
	"		11/19					
	"		11/20					
	"		11/21					
	"		11/26					
	"		11/27					
	"		↓	11/28				
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)			
必修	講義20% 実技80%		なし		39回/ 97.5h			
講師区分	常勤	講師名	山下節子		関係実務経験 3年以上のキャリア	教員三年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期Ⅱ	高度造形実習	専攻科(T選択)	1	
科目概要					
デザインを表現化する為の工夫					
習得項目					
作品の完成度を上げる					
評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・課題の評価 (デザイン通りの表現の有無) ・授業評価、仕上がりの期日 					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	卒業制作	実物仮縫い補正	12/3		
	”	↓	12/4		
	”	↓	12/5		
	”	↓	12/10		
2	”	本縫い	12/11		
	”	↓	12/12		
	”	↓	12/17		
	”	↓	12/18		
	”	↓	12/19		
3	”	中間チェック	12/24		
	”	↓	12/25		
	”	↓	1/7		
	”	↓	1/8		
	”	↓	1/9		
	”	↓	1/15		
選択区分	授業形態(講義/実習割合)		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数(2限=2.5H)
必修	講義20% 実技80%		なし		
講師区分	常勤	講師名	山下節子		関係実務経験 3年以上のキャリア
					教員三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期Ⅱ	高度造形実習	専攻科(T選択)	1	
科目概要					
デザインを表現化する為の工夫					
習得項目					
作品の完成度を上げる					
評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> ・課題の評価 (デザイン通りの表現の有無) ・授業評価、仕上がりの期日 					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
3	卒業制作	中間チェック	1/16		
4	"	小物制作及び仕上げ	1/21		
	"	↓	1/22		
	"	↓	1/23		
5	"	最終チェック	1/28		
	"		1/29		
	"		1/30		
	"		2/4		
	"		2/5		
	"	↓	2/6		
	"	提出	2/12		
		ファッションショー期間	2/13		
		"	2/18		
		"	2/19		
		"	2/20		
選択区分	授業形態 (講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数 (2限=2.5H)		
必修	講義20% 実技80%	なし			
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア	教員三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年
令和6年	後期Ⅱ	高度造形実習	専攻科(T選択)	1
科目概要				
デザインを表現化する為の工夫				
習得項目				
作品の完成度を上げる				
評価方法				
・課題の評価 (デザイン通りの表現の有無) ・授業評価、仕上がりの期日				
科目授業の実施計画			履修クラス	
			専攻科	
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日	
		ファッションショー期間	2/25	
		"	2/26	
		"	2/27	
選択区分	授業形態(講義/実習割合)	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数(2限=2.5H)	
必修	講義20% 実技80%	なし	33回/ 82.5h	
講師区分	常勤	講師名	山下節子	関係実務経験 3年以上のキャリア
				教員三年以上

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	前期	卒業制作ファッションショー制作実習	専攻科	1	
科目概要					
ショー企画、全体会議 ファッションショーのテーマ及びカテゴリ名を考える。衣装デザインを準備する。					
習得項目					
1. 話し合いの協調性・自己主張 2. デザインの発想力を養う。					
評価方法					
1. 課題評価（話し合いの協調性・自己主張・デザインの発想力での評価） 2. 授業姿勢（出席率・授業態度）					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	話し合いの協調性口	ショー全体の説明、授業の流れ リーダー、サブリーダー決める	4/12		
2	発想力を高める	クラス内で1人1案出して1人ずつ発表3案に決める、資料作り	4/19		
2	発想力を高める	3案のプレゼン資料作りパワポにて	4/26		
2	話し合いの協調性	3案×4クラス=12案の説明、共有	5/10		
2	プレゼンテーション力を高める	プレゼンに向けての資料作り	5/17		
3	プレゼンテーション力を高める	プレゼン練習	5/24		
3	プレゼンテーション力を高める	全体テーマ決め理事長プレゼン本番、B見学	5/31		
4	話し合いの協調性	カテゴリ大きく分ける（分け方）	6/7		
4	話し合いの協調性	グループ名話し合い、資料作り	6/14		
4	発想力を高める	資料作り	6/21		
5	プレゼンテーション力を高める	資料の修正、プレゼン練習	6/28		
5	プレゼンテーション力を高める	カテゴリ決め理事長プレゼン	7/5		
		自習予備日	7/12		
		前期修了ショー	7/19		
		*たたき台のデザイン画、夏休みの宿題 *9月～デザイン画スタート、10月末にデザイン画上がり			
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必修	実技80%・講義20%		なし		14回/ 35H
講師区分	常勤	講師名	石川和男、鷺 典子、福永 葵		関係実務経験 3年以上のキャリア
			国内アパレル デザイナー職を3年以上		

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期 I	服飾技術実習（卒制）	専攻科	1	
科目概要					
卒業製作ファッションショー衣装製作 デザイン画に忠実な再現 素材やデテールの研究					
習得項目					
卒業製作ファッションショー衣装製作					
評価方法					
<ul style="list-style-type: none"> 課題評価（縫製技術、デザイン、期限） 授業評価（製作の進行状況、出席率） 					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	卒業製作 デザインの分析	デザイン画作成	9/6		
2	〃	デザイン画の作成・デテール研究	9/13		
3	〃	デテール・素材の研究	9/20		
4		バス遠足	9/27		
5	卒業製作 デザインの分析	デザイン画提出	10/4		
6	卒業製作 素材の研究	素材集め・研究	10/11		
7	〃	素材の加工・サンプル作成	10/18		
8		運動会	10/25		
9		海外研修	11/1		
10	卒業制作 仮縫い	トワル仮縫い	11/8		
11	卒業製作 本縫い	実物製作	11/15		
12	〃	実物製作	11/22		
13	〃	実物製作	11/29		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）		他授業・企業連携・企業講師		期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）
必修	実技80% 講義20%				13回/ 32.5H / / / /
講師区分	常勤	講師名	福永葵	関係実務経験 3年以上のキャリア	

東京服飾専門学校 科目シラバス

年度	期	科目名	履修学科コース	学年	
令和6年	後期Ⅱ	服飾技術実習（卒制）	専攻科	1	
科目概要					
卒業製作ファッションショー衣装製作 デザイン画に忠実な再現 素材やデテールの研究					
習得項目					
卒業製作ファッションショー衣装製作					
評価方法					
・課題評価（縫製技術、デザイン、期限） ・授業評価（製作の進行状況、出席率）					
科目授業の実施計画			履修クラス		
			専攻科		
ステップ	習得目標	学習内容・課題	授業予定日		
1	卒業製作 本縫い確認	実物製作補正	12/6		
2	卒業製作 本縫い	本縫い	12/13		
3	〃	本縫い	12/20		
4	〃	中間チェック	1/10		
5	〃	小物製作・仕上げ	1/17		
6	〃	最終チェック・補正	1/24		
7	〃	衣装提出	1/31		
8	ファッションショー期間	ファッションショー期間	2/7		
9	〃	〃	2/14		
10	ファッションショー	ファッションショー	2/21		
11	ファッションショー振替休日	ファッションショー振替休日	2/28		
選択区分	授業形態（講義/実習割合）	他授業・企業連携・企業講師	期別授業回数 / 時間数（2限=2.5H）		
必修	実技80% 講義20%		11回/ 27.5H	/	/
講師区分	常勤	講師名	福永葵		関係実務経験 3年以上のキャリア